

2023. 7 . 19 (水)
会場:小野地区コミュニティセンター

豊岡市立 小中学校適正規模・適正配置計画

小野小学校の将来について 地区説明会

豊岡市教育委員会事務局



1

次 第

1. あいさつ
2. これまでの経過
3. 豊岡市立小中学校適正規模・適正配置計画の考え方
4. 小野小学校の計画の位置づけ
5. 今後の進め方
6. 【参考】出石地域で小学校を1校とする考え方
7. 意見交換
8. アンケート

2

1. あいさつ

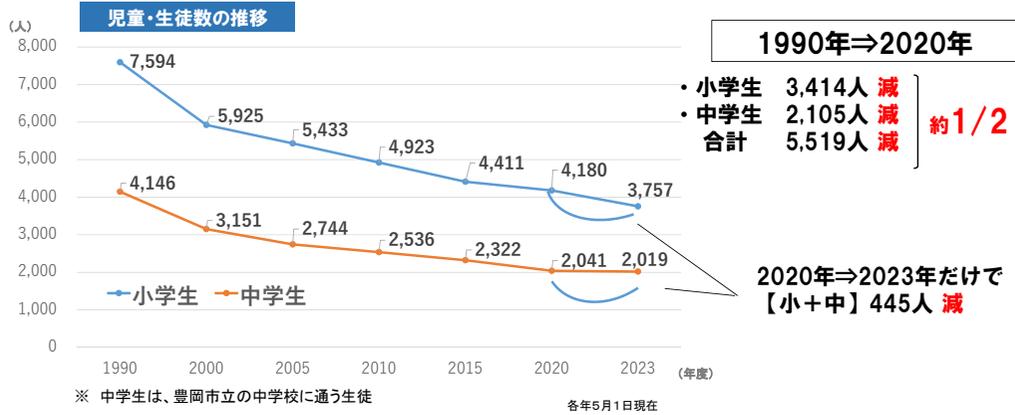
3

2. これまでの経過

4

近年の急激な少子化により

- ・複式学級を有する小学校の増加
 - ・同級生がわずか数名という学年も
- ⇒ 多様な考えに触れられる機会が減る
 集団での活動に支障 等 } 子どもたちの教育に様々な影響



豊岡市立小中学校適正規模・適正配置計画の策定経過と各地区の動き

年度	計画策定の経過	各地区の動き
2019	2/ 3 審議会へ諮問 以降 審議会を計7回開催 (2021年2月10日まで)	12月 奈佐小学校区から要望書提出 (2021年4月 五荘小学校へ統合) 2月 港東小、港西小学校区から要望書提出 (2021年4月 港小学校へ)
2020	9/25 保護者向け (出石) 10/28 地域住民向け (出石) } 審議の内容をお知らせ (中間報告) 2/10 審議会より答申	9月 中竹野小学校区から要望書提出 2月 竹野南小学校区から要望書提出 (2022年4月 竹野小へ統合)
2021	7/ 7 答申説明会 (出石) 12/ 1 計画案説明会 (出石) ※パブリックコメント実施 12月末 計画策定	7月 高橋小学校区から要望書提出 (2023年4月 合橋小へ統合) 3月 静修小学校区から要望書提出 (2023年4月 日高小へ統合)
2022	計画に基づき校区別説明会を開始 寺坂小校区から順次	2月 寺坂小学校区から合意書提出 (2024年4月1日統合予定)

3. 豊岡市立小中学校適正規模・適正配置計画の考え方

学校の小規模化が進むことによる課題

◆ 小規模校には小規模校の良さがあります

【メリット】

- ・ 児童・生徒の一人一人に目が届きやすく、きめ細かな指導が行いやすい。
- ・ 学校行事や部活動等で、児童・生徒一人一人の個別の活動機会を設定しやすい。
- ・ 児童・生徒相互の人間関係が深まりやすい。
- ・ 異学年間の縦の交流が生まれやすい。
- ・ 保護者や地域社会との連携が図りやすい。

学校の小規模化が進むことによる課題

◆ その一方で課題もあります

【デメリット】

- ・ 多様な考え方に触れる機会や学びあいの機会、切磋琢磨する機会が少なくなりやすい。
- ・ 人間関係や相互の評価等が固定化しやすい。
- ・ 運動会や音楽活動等の集団教育活動に制約が生じやすい。
- ・ 部活動等の設置が限定され、選択の幅が狭まりやすい。
- ・ PTA活動等、保護者一人当たりの負担が大きくなりやすい。

9

審議会での意見

- ・ 小規模校の良さは認めるものの、複式学級が生じるほどの極小規模になると課題の方が大きい。
- ・ 子どもたちには多様な意見に触れ、いろいろな体験をしてほしい。
- ・ 保護者の不安の多い複式学級の解消を最優先とするべき。

審議会での意見を尊重しつつ、説明会等で寄せられた意見を踏まえて計画を策定



「次代を担う豊岡の子どもたちにとって、より良い教育環境とするために、学校はどうあるべきか」

10

適正規模の考え方

市の実情を考え、

- ①望ましい学校規模（理想とする姿）と、
- ②最低限確保したい学校規模（下限の目安）を設ける

複式学級が生じない

	望ましい学校規模	最低限確保したい学校規模
小学校	12～18 学級 (クラス替えが可能)	6学級以上 (各学年1学級以上)
中学校	9～18 学級 (十分な教員が配置可能)	3学級以上 (各学年1学級以上)
		(小中学校とも、 各学年20人程度以上)

11

適正配置の考え方

通学時間と旧市町ごとの歴史的・社会的背景を考慮した学校配置とする

- ア 通学時間 概ね1時間以内とする
※遠距離では、交通手段の確保が前提
- イ 小学校の再編は、原則、同一中学校区内とする
- ウ 中学校の再編は、原則、旧市町域内とする

原則、旧市町域内に小・中とも1校は存続

12

学校再編の基本方針

- ・ 学校統合
- ・ 施設一体型小中一貫校として再編・整備
(要件が満たされる場合)

学校再編の優先順位

1. 最優先	・ 既に複式学級が生じている小学校
2. 優先	・ 将来的に複式学級が生じると見込まれる小学校 ・ 小規模化により課題が生じる中学校
3. 将来的な検討	・ 「最低限確保したい学校規模」(1学年20人程度)をめざし、将来的な学校のあり方について地域と検討

13

◆計画の期間

2022年度から2031年度までの10年間
(10年後以降の姿も見据えた計画とする)



◆計画の進め方

保護者や地域住民との十分な合意形成を図りながら進めます

14

4. 小野小学校の計画の位置づけ

出石地域の再編の枠組

豊岡市立小中学校 適正規模・適正配置計画 スケジュール

地域	対象校	前期					後期					10年後以降(令和14年度以降)	
		令和3年度 2021年度	令和4年度 2022年度	令和5年度 2023年度	令和6年度 2024年度	令和7年度 2025年度	令和8年度 2026年度	令和9年度 2027年度	令和10年度 2028年度	令和11年度 2029年度	令和12年度 2030年度		令和13年度 2031年度
出石	弘道小												
	福住小			80人									
	寺坂小			29人									
	小坂小				72人								
	小野小				53人								

2024年度 児童数見込 児童 102人 学級数 6

2025年度 児童数見込 児童 109人 学級数 6

「小学校を1校」への再編検討
(地域からの意見を踏まえて)

15

16

小野小校区の子どもの数

2023年度 単位：人

小学校区別	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	未就学児計	小1	小2	小3	小4	小5	小6	小学生計
小野小	3	4	4	6	5	8	30	6	8	10	11	12	9	56

小野小児童数見込	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
	56	55	48	43	37	33	30

今後の児童数見込み（複式学級の発生状況）

（単位：人）

学校名	学年	児童数（見込）						
		2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
小野小学校	1年生	6	8	5	6	4	4	3
	2年生	8	6	8	5	6	4	4
	3年生	10	8	6	8	5	6	4
	4年生	11	10	8	6	8	5	6
	5年生	12	11	10	8	6	8	5
	6年生	9	12	11	10	8	6	8
	特別支援	0	0	0	0	0	0	0
計		56	55	48	43	37	33	30

※将来人数の予測は、それぞれの現在の住民基本台帳及び就学人数をスライドさせて計算
 複式学級の基準（兵庫県）・・・2学年で14人以下（1年生を含む場合は8人以下）

【参考】複式学級での授業の様子



2年生

3年生

No.7 小坂小学校、小野小学校の再編

豊岡市立小中学校適正規模・適正配置計画より抜粋

児童数 学級数 見込み	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">学校名</th> <th colspan="2">2021年度</th> <th colspan="2">2030年度</th> </tr> <tr> <th>児童数</th> <th>学級数</th> <th>児童数</th> <th>学級数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小坂小</td> <td>89</td> <td>6</td> <td>63</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>小野小</td> <td>57</td> <td>6</td> <td>33</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>146</td> <td>-</td> <td>96</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>（注）学級数は、特別支援学級を除く。</p>	学校名	2021年度		2030年度		児童数	学級数	児童数	学級数	小坂小	89	6	63	6	小野小	57	6	33	4	合計	146	-	96	-	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">学年</th> <th colspan="2">2030年度</th> </tr> <tr> <th>児童数</th> <th>学級数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1年</td> <td>13</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>14</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td>15</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>4年</td> <td>17</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>5年</td> <td>19</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>6年</td> <td>18</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>96</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table>	学年	2030年度		児童数	学級数	1年	13	1	2年	14	1	3年	15	1	4年	17	1	5年	19	1	6年	18	1	合計	96	6
	学校名		2021年度		2030年度																																															
児童数		学級数	児童数	学級数																																																
小坂小	89	6	63	6																																																
小野小	57	6	33	4																																																
合計	146	-	96	-																																																
学年	2030年度																																																			
	児童数	学級数																																																		
1年	13	1																																																		
2年	14	1																																																		
3年	15	1																																																		
4年	17	1																																																		
5年	19	1																																																		
6年	18	1																																																		
合計	96	6																																																		
学校間の距離	<p>学校間距離 小坂小～小野小 4.1 km</p> <p>学校間移動時間（バス） 約12分（20 km/h）</p> <p>最も近い集落からの距離 片間 ⇒ 小野小 6.5 km 奥小野 ⇒ 小坂小 7.0 km</p>																																																			
考え方	小野小学校は、2025年に児童数が50人を下回り、この年の前後から複式学級が生じる見込みとしています。 このため、複式学級が生じる前に小坂小学校との再編を優先して進めます。																																																			

時期の目安 2025年度			
場所	小坂小学校を想定		
施設の比較			
学校名	用途	面積 (㎡)	建築年度
小坂小	校舎	3,240	2002
	体育館	1,101	2002
小野小	校舎	1,911	1987
	体育館	800	1987

学校の位置の検討

学校の位置は、次の項目をはじめとした様々な観点から検討・決定します。

- ① 児童生徒の通学距離
- ② バス通学となった場合のバスの利用人数
- ③ 施設の空き教室の状況
- ④ 施設の老朽化の状況 等

学校再編にあたって配慮すべき事項への対応

豊岡市立小中学校適正規模・適正配置計画（概要版）より

1 児童生徒への配慮

学校再編によって、児童生徒の環境が大きく変化することへの対応

- (1) 子どもたちへの理解と心のケア
- (2) 学校間交流
- (3) 教員の統合加配制度の活用
- (4) 特別支援教育への対応

2 通学への配慮

- (1) 通学路の安全確保…通学路の安全点検、見守りボランティアの協力
- (2) 遠距離通学者に対する通学支援…通学バスの運行方法等の検討、バス通学訓練の実施

3 放課後児童クラブ利用者への配慮

児童の帰宅時間が遅くなり、生活習慣に影響が生じる場合等

21

学校再編にあたって配慮すべき事項への対応

4 地域の拠点機能としての配慮（学校の跡地の有効活用）

- ・ 学校は、児童生徒への教育的機能が第一ですが、地域の拠点機能も担うことから、跡地の利活用について早期に検討を始める必要があります。
- ・ 利活用は、地域の意向、ニーズに配慮し、①市の事業、②公共的な団体等による事業を検討し、その次に③民間事業で地域の活性化につながる活用を模索します。
- ・ 活用策の検討は、地域と協議・調整を図りながら進め、活用策が決まるまでの間は、引き続き地域での利用ができるよう配慮します。

22

5. 今後の進め方

- (1) 地区説明会
- (2) 小野地域内での検討
- (3) 「小野小学校の将来を考える会」等地区の検討組織設置



統合の了承

- (4) 統合準備委員会設置

・もっと詳しく聞きたい
・ここがわからない 等があれば、教育総務課 学校再編・施設整備室にお尋ねください

PTA主催の勉強会等にもうかがえます！

23

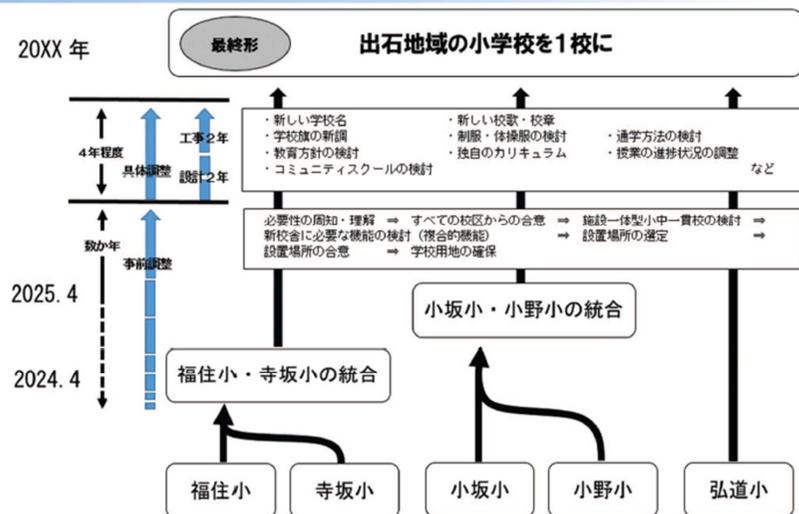
6. 【参考】出石地域で小学校を1校とする考え方

- ・適正規模・適正配置にかかる地区説明会や、地域デザイン懇談会では「出石地域で小学校を1校に」との意見が出されています
- ・ただし、出石の5つの小学校を1校にするには多くの調整が必要です
例：すべての地域からの同意
出石中学校との施設一体型とすることが可能か
学校の設置場所の確保
それぞれの学校の教育内容等を統一
その他 学校名、校歌、校章の検討 等

これらの調整には相当の期間が必要であることから、まずは、複式学級の解消を最優先に進める必要があります。

24

〔参考〕出石地域における小学校一校化の方向性(イメージ)



25

〔参考〕出石地域 小学校区別児童数

校区別児童数

(5歳児までは2023.4.6住民基本台帳より 児童数は5月1日現在の実数)

(単位:人)

小学校区別	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	就学前 児童数	6歳児 (小1)	7歳児 (小2)	8歳児 (小3)	9歳児 (小4)	10歳児 (小5)	11歳児 (小6)	小学生 児童数
	2022.4.2~ 2023.4.1 生まれの人数	2021.4.2~ 2022.4.1 生まれの人数	2020.4.2~ 2021.4.1 生まれの人数	2019.4.2~ 2020.4.1 生まれの人数	2018.4.2~ 2019.4.1 生まれの人数	2017.4.2~ 2018.4.1 生まれの人数		2016.4.2~ 2017.4.1 生まれの人数	2015.4.2~ 2016.4.1 生まれの人数	2014.4.2~ 2015.4.1 生まれの人数	2013.4.2~ 2014.4.1 生まれの人数	2012.4.2~ 2013.4.1 生まれの人数	2011.4.2~ 2012.4.1 生まれの人数	
弘道小学校	13	28	23	21	18	29	132	23	30	29	31	38	42	193
福住小学校	9	8	6	11	16	9	59	16	11	6	16	16	15	80
寺坂小学校	1	4	1	4	6	1	17	0	7	5	5	5	4	26
小坂小学校	6	6	9	10	11	11	53	9	13	13	12	20	19	86
小野小学校	3	4	4	6	5	8	30	6	8	10	11	12	9	56
出石地域計	32	50	43	52	56	58	291	54	69	63	75	91	89	441

26

7. 意見交換

- ・ 計画の内容についてのご意見をお聞かせください。
- ・ ご発言の際には、お住まいの地区を教えてください。
- ・ 質疑応答・意見交換での発言の際は、マイクをお持ちするまでお待ちください。

27

8. アンケート

- ・ アンケート調査にご協力ください。
- ・ 意見交換で言えなかったこと、言いにくかったことなど、どのような内容でも構いません。
- ・ いただいた意見については、今後、地区・PTAと協議する際の、参考資料とさせていただきます。(記入した方がわからないよう十分配慮します)

28

お問い合わせ先

豊岡市教育委員会 教育総務課
学校再編・施設整備推進室

〒668-8666 兵庫県豊岡市中央町2番4号

tel 0796-23-1117

fax 0796-24-4669

Eメール kyouikusoumu@city.toyooka.lg.jp (課代表)